

NPO 法人 CAP センター・JAPAN 理事会議事要旨	
会 議 名	2011 年度第 2 回理事会
日 時	2012 年 2 月 18 日(土) 11 時～16 時 30 分
場 所	西宮市市民交流センター A会議室 議室
参 加 者	理事 側垣 家本 大野 角田 横山 監事 石田 (午後のみ)
欠 席 者	理事 田上 島村 監事 能島
事 務 局	重松 長谷
議 案	<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 事業部門報告</p> <p>(2) 管理部門報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2011 年度会計状況 ・ 2011 年度組織運営体制 ・ NPO パナソニックファンドによる助成事業 (組織診断) 報告 ・ 2011 年度運営方針および事業の振り返り <p>(3) RTC 関連報告 (RTC: リージョナルトレーニングセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年度合意事項 (MOU) 提出状況/CAP スペシャリスト資格登録状況/資格更新のための必須研修受講状況 ・ トレーニング委員会報告 <p>2. 協議事項・審議事項</p> <p>(1) 管理部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総会に向けてのスケジュール/決算理事会、議案作成、発送予定等 ・ 次期役員改選について ・ 2012 年度運営方針と事業の方針、および中期目標・計画策定について ・ 中学生暴力防止プログラムについて <p>(2) 事業部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算案および 2012 年度事業計画案について
【報告事項】	
(1) 事業部門報告	<p>2011年度下半期事業について、事務局より報告が行われた。</p> <p>第2事業では、専門学校生・大学生・大学院生のための「子どもへの暴力防止のための基礎講座」を初めて実施した。参加者はその後も交流され、ピアサポートの意味で学生を限定対象とした講座を実施することの意味は大きい。キリン福祉財団助成で公開講座を2回実施し、CCJブックレット①『社会的養護のもとにいる子どもたち1』を発行した。第6事業として、CAPプログラムやCCJの紹介に関わる原稿確認作業が複数件あり、今後それらの記事をHP等で紹介していくように検討する。また、今年度も、司法面接研修でアクターを3会場で担当する。団体運営としては、他団体主催の広報、ITツール、寄付に関する研修やシンポジウムなどに積極的に参加し、他団体と交流する機会が増えた。「ECPAT院内集会賛同団体」、「子どもに対する暴力防止キャンペーンメンバー」として、他団体と連携し、子どもへの暴力防止のためのロビー活動を行った。</p>
(2) 管理部門報告 ・ 2011 年度会計状況	<p>12 月までの決算ならびに 1～3 月のキャッシュフローを事務局より報告が行われた。</p> <p>事業のとりやめや変更などがあった一方で、助成金の追加などもあり、年度収支規模は 2300 万程度になる見込み。今年度は書籍の印刷費が高額だが、残部は次年度以降の収入となる。</p>
・ 2011 年度組織運営体制	<p>2011 年度の組織運営体制表の確認を行った。これは、「2011 年度事業報告」の資料とする。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・NPO パナソニックファンドによる助成事業（組織診断）報告 ・2011 年度運営方針および事業の振り返り (3) RTC 関連報告 ・2010 年度合意事項（MOU）提出状況/CAP スペシャリスト資格登録状況/資格更新のための必須研修受講状況 ・トレーニング委員会報告 	<p>これまでの作業について、事務局より報告が行われた。</p> <p>組織診断を行うための検討材料として、年末から年始にかけて、理事、事務局、委員会委員などの13人が提出した内部分析診断アンケートを集計分析し、第2回集合研修で報告した。今後は、ステークホルダー（利害関係者）からのヒアリングならびに外部環境分析を行い、それらをもとに、4月上旬に、理事、事務局、委員会委員が今回の助成事業のための個別コンサルタントとともに、SWOT 分析と優先課題抽出のためのミーティングを行う。4月末には報告書を提出する予定である。</p> <p>2011 年度をふりかえり、運営方針および事業方針についての意見交換を事務局も含めて行った。ここで出された意見を参考に、「2011 年度事業報告」を作成する。</p> <p>2011年度覚書を交わしたグループ数86（正会員87）、活動認定証発行数1,180人（2013年4月更新983人、2014年4月更新181人、2015年4月更新16人）、資格取得証明発行者数18人となっている。</p> <p>ベーシックトレーナー1人が8月にご都合により辞任された。</p>
<p>【協議・審議事項】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 管理部門 ・総会に向けてのスケジュール/決算理事会、議案作成、発送予定等 ・次期役員改選について ・2012 年度運営方針と事業の方針、および中期目標・計画策定について ・中学生暴力防止プログラムについて 	<p>総会に向けてのスケジュールおよび次期役員改選について、事務局より提案が行われた。</p> <p>〈決議事項〉 総会に向けてのスケジュールは提案どおり承認する。 次期役員数は7名とし、退任を希望された理事に代わり、2名の外部理事の候補者を正会員、理事、事務局、委員会から募る。 理事候補者の条件は、専門性を活かして CCJ の方針に基づき、NPO 法人の運営に貢献していただける方とする。</p> <p>2012年度から2015年度を見通した中期計画（ホップ・ステップ・ジャンプUP計画）について、事務局から提案が行われた。</p> <p>組織診断の検討をする過程で、中期計画作成が必要と感じてきた。2015年度に認定NPO法人をめざし、現時点で基盤を強化していくために整備が必要と思われることが4点あげられる、1. CAPトレーナーについて、2. 地域の拠点づくり、3. 地域におけるCAP活動の活性化、4. 社会への発信。2012年度は、社会的指標を定めることや、これらの運営方針（中期計画）を立て、運営していきたいと考える。</p> <p>〈決議事項〉 2012年度運営方針と事業の方針、および中期目標・計画策定について、その方向性を提案どおり承認する。</p> <p>前回の理事会で検討した内容をもとに、運営委員会で再検討が行われ、再提案が行われた。</p> <p>現状、中学生暴力防止プログラムは、中学校や社会的養護の現場で実施されているので、実践者の養成だけでなく、すでに行っているプログラム実践の質の維持のためのトレーニングや検証を行うことが必要と考える。RTC としての役割として、発達やニーズに応じて提供するすべてのプログラムをカバーすることは当然なので、トレーナー養成について CCJ の方針を示したうえで、J-CAPTA と再交渉を行いたい。併せて、現状の課題に関するリサーチを CAP グループに積極的に行っていく。</p>

<p>(2) 事業部門 ・ 予算案および 2012 年度事業計画案について</p>	<p>〈決議事項〉 中学生暴力防止プログラムについて提案どおり承認する。</p> <p>予算案および 2012 年度事業計画案について、事務局より提案が行われた。今年度の固定費（管理費）についてご確認いただいたうえで、来年度の固定費もほぼ同額と見積もり、それに事業予算を加味して 4 月理事会で承認いただきたい。</p> <p>地域グループからのリサーチも終え、講座・研修開催について以下のような計画を考えている。「子どもへの暴力防止のための基礎講座」5～6 回（学生対象の講座を含む）、公開研修会「あなたが守る子どもの権利 アタッチメント形成から見るとしつけと体罰」、「CAP スペシャリスト養成講座・実践編」4 回、就学前プログラム講座 1 回、SNP 講座 2 回、資格更新のための研修 9 回程度、児童養護施設ならびに社会的養護に関する研修 2 回、TOST 修了者研修、RTC リーダーズ研修、就学前プログラムに関する研修、おとなワークショップに関する研修を計画している。</p> <p>〈決議事項〉 予算案および 2012 年度事業計画案について、提案どおり承認する。</p>
<p>【その他】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 回理事会は、4 月 15 日（日）に西宮市市民交流センターで行う。 ・ 第 11 回定時総会 2012 年 5 月 26 日（土）
<p>議事録署名人選任</p>	<p>家本理事、大野理事</p>

議事要旨作成：長谷